

小規模多機能センター落合南

事例の紹介 Vol. 4



2020年8月号
広島市安佐北区
落合南9-5-20
☎ 843-4165
管理者:村田
計画作成:三田

排泄管理によるQOLの維持

84歳代 女性 介護3 老々介護
排泄障害を起こしているケース



●利用前の様子

日中夜間問わず排便の失敗や弄便があり、この事により夫の介護負担も増え施設入所を検討されるようになってきた。



本人の思い
・孫を見るのが好き
・ドライブが好き
・楽しく生活がしたい

ご主人の思い
・朝トイレの失敗がありデイサービスに間に合わない
・いつ排便があるかわからないから外出ができない
・排便の後始末が大変

自宅

再発防止とリスク管理

- ・毎食30分後トイレでの排泄の促し
- ・食事管理・水分管理・排尿管理
- ・排泄処理困難時の訪問
- ・排泄パターンに合わせたトイレ誘導
- ・日中オムツゼロへの取り組み



- ・内科の訪問診療
- ・歯科の訪問診療



小多機

・医療連携シートによる情報共有

病院

●機能性便失禁のアプローチと結果

・小規模多機能センター落合南ではサービス(通い・泊り・訪問)が一事業所で行える利点を生かし、通い時・泊り時・訪問時にスタッフ間で統一した取り組みを行うことができます。又、施設ケアマネがいますのでその都度話し合いを行いながらケアの見直し・実施を行っています。その中で、排泄に対して施設では日中オムツゼロへの取り組みや毎食後のトイレ誘導、在宅では食事や水分の管理を集中的に行ってきました。その日々の様子をかかりつけ医の先生に報告しながらお薬の調整や体調管理を行ってきました。このような事から、排便に関して決まった時間に行えるようになり家族の負担が激減し外出機会が増える結果となりました。

小多機ご利用料金
シミュレーション



施設の取り組み
日々の様子

